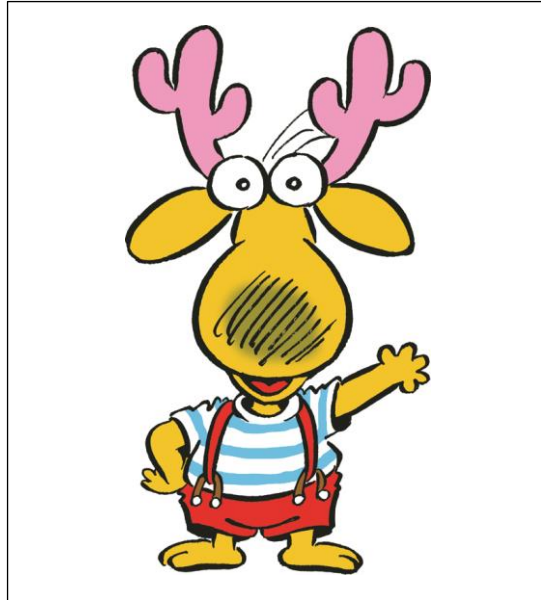


オンライン英会話サービスを開始

グローバルゲートインスティテュートとの共同事業で4月スタート
講師はアメリカの教員資格保持者「朝日小学生新聞」の連載と連動



連載コーナーに登場するキャラクター

朝日学生新聞社は4月から、自宅のパソコンなどを通じ、アメリカ人講師らと会話しながら英語を学ぶ「朝小えいご塾」を開始する。ICT（情報通信技術）を使った人材教育会社「グローバルゲートインスティテュート」（GGI、本社・東京）との共同事業となる。

講師は全員がアメリカの公立学校の教員資格保持者。生徒はパソコンやタブレット端末で、テレビ会議のように講師のレッスンを受ける。講師1人と数人の生徒を同時に結び、1回15分。費用は月2回受講して月1180円（税込み）。3月には無料体験を実施する。

この事業に合わせて、朝日小学生新聞の紙面ではオンライン授業の予習にも使える新しい英語コーナーを始める。週1回の連載には、児童英語教室や教材開発を手がける「mpi松香フォニックス」（本社・東京）が協力。紙上のキャラクターにスマートフォンをかざすと、英語の映像や音声が出る「音の出る新聞」になる。